

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 レオン自動機株式会社  
 コード番号 6272 URL <http://www.rheon.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼上席執行役員 管理本部長兼経営企画本部長 (氏名) 羽石 是之 (TEL) 028-665-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,564	10.2	2,199	54.8	2,302	49.6	1,493	27.9
27年3月期第3四半期	16,853	6.4	1,421	△12.2	1,539	△10.2	1,167	△22.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,609百万円(△23.4%) 27年3月期第3四半期 2,100百万円(△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	53.77	-
27年3月期第3四半期	42.04	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	27,432	19,573	71.4	704.73
27年3月期	26,682	18,604	69.7	669.84

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 19,573百万円 27年3月期 18,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	4.00	-	16.00	20.00
28年3月期	-	7.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	11.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	6.0	2,760	25.3	2,800	20.6	1,700	△9.2	61.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	28,392,000株	27年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	617,871株	27年3月期	617,462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	27,774,292株	27年3月期3Q	27,778,278株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油安による物価上昇率の低下に伴う実質所得の押し上げなどから個人消費が持ち直しているものの、そのペースは緩やかでした。また、政府主導の経済政策や日銀の金融緩和策の効果もあり、円安・株高が継続し、企業収益や設備投資、雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。

海外におきましては、米国では景気の拡大が継続しました。欧州では原油安が実質所得を押し上げ、個人所得が底堅く推移しましたが、中国の需要減速で輸出の伸びは鈍っており、緩やかな回復となりました。また、中国、新興国の経済成長率は減速しており、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが市場とする食品業界は、消費の低迷による商品の低価格化や差別化などの課題をかかえております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。

このような状況の下で当社グループは、市場ニーズに対応するため、ワールドワイドに市場動向を調査し、レオロジー（流動工学）を基礎とする当社独自の開発技術の商品化により、食品機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内および海外の食品業界へ提案してまいりました。

報告セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

## 〔食品加工機械製造販売事業〕

国内市場では、食品成形機において「火星人 CN580型」、「セットパンナー KP301型、KP302型」、新型の「重合ノズルソニックスライサー SK100型」が和洋菓子業界向けに販売され、また、「2列火星人 WN155型」の調理食品業界への販売が好調で、新機種の「包あん機 AN210型」への買替需要もあり、売上が前年より増加しました。製パンライン等においては、品質アップやバラエティー化に対応した「ドーナツライン」、「菓子パンライン」、「ピザライン」、「サブレスンドライン」や「ペストリーライン」などの販売がありましたが、売上は前年より減少しました。なお、コンビニエンス向けへの販売は引き続き好調に推移しております。以上により、国内全体の外部顧客への売上高は、対前年同四半期1.6%増加しました。

アメリカ市場では、食品成形機において「火星人 KN550型」の調理食品業界やエスニック市場への販売があり、売上は前年より増加しました。製パンライン等においては、「ブレッドライン」、「ピザライン」の販売がありましたが、「ペストリーライン」などの大型ラインの販売が伸び悩み、売上は前年より減少しました。以上により、アメリカ全体の外部顧客への売上高は、現地通貨ベースでは対前年同四半期1.3%増加し、円ベースでは対前年同四半期15.3%増加しました。

ヨーロッパ市場では、食品成形機において調理食品を生産する「火星人 KN550型」の販売が好調で、売上が前年より増加しました。製パンライン等においては、南欧・中東で大型の「ブレッドライン」、「クッキー生産ライン」の販売がありました。また、ドイツでは、ブレッド生産用の「ストレスフリーデバイダー VX212型」の販売が好調で売上が前年より増加しました。以上により、ヨーロッパ全体の外部顧客への売上高は、現地通貨ベースでは対前年同四半期15.9%増加し、円ベースでは対前年同四半期11.0%増加しました。

アジア市場では、食品成形機において中国・台湾で中華菓子を生産する「火星人 KN500型」、中国でミニパンを生産する「火星人 CN511型」、フィリピンで中華まんを生産する「火星人 KN550型」の販売が好調で、売上は前年より増加しました。製パンライン等においては、中国、香港、フィリピンで高品質なパンの需要に対応した「VM製パンライン」、韓国で調理食品を生産する「メガフォーマー」の販売があり、売上が前年より増加しました。以上により、アジア全体の外部顧客への売上高は、対前年同四半期9.9%増加しました。

修理その他は、国内と海外ともに売上が前年より増加しました。

**〔食品製造販売事業〕**

国内の(有)ホシノ天然酵母パン種においては、国内大手ユーザー向けのホシノ天然酵母パン種需要が増加したことにより、外部顧客への売上高は、対前年同四半期12.2%増加しました。

アメリカのオレンジベーカリーでは、バタークロワッサンの販売が好調であったことと、既存顧客へのパイ、デニッシュペストリーなどの販売量増加により、外部顧客への売上高は、現地通貨ベースでは対前年同四半期5.1%増加し、円ベースでは対前年同四半期19.7%増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は18,564百万円（対前年同四半期10.2%増）、営業利益は2,199百万円（対前年同四半期54.8%増）、経常利益は2,302百万円（対前年同四半期49.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,493百万円（対前年同四半期27.9%増）となりました。

**(2) 財政状態に関する説明****(資産)**

流動資産は、前連結会計年度末に比べて767百万円増加し、12,414百万円となりました。これは、現金及び預金が587百万円増加、商品及び製品が203百万円増加、仕掛品が153百万円増加、受取手形及び売掛金が254百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16百万円減少し、15,018百万円となりました。これは、減価償却が進んだことおよび当社の土地を売却したことにより、有形固定資産が229百万円減少、無形固定資産が96百万円増加、投資有価証券が59百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて750百万円増加し、27,432百万円となりました。

**(負債)**

流動負債は、前連結会計年度末に比べて39百万円減少し、5,536百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が192百万円増加、未払法人税等が151百万円増加、短期借入金が47百万円減少、賞与引当金が319百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて179百万円減少し、2,322百万円となりました。これは、長期借入金が227百万円減少、繰延税金負債が84百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて218百万円減少し、7,859百万円となりました。

**(純資産)**

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて968百万円増加し、19,573百万円となりました。これは、利益剰余金が901百万円増加、その他有価証券評価差額金が39百万円増加、退職給付に係る調整累計額が42百万円増加したことなどによります。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.7%から71.4%となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

当第3四半期連結会計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。平成27年10月30日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,699,960	4,287,271
受取手形及び売掛金	3,397,725	3,142,759
商品及び製品	2,654,176	2,857,675
仕掛品	789,390	942,545
原材料及び貯蔵品	518,661	540,897
繰延税金資産	393,798	306,449
その他	223,328	381,191
貸倒引当金	△30,073	△44,750
流動資産合計	11,646,969	12,414,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,705,751	12,943,566
減価償却累計額	△8,173,724	△8,310,385
建物及び構築物(純額)	4,532,026	4,633,181
機械装置及び運搬具	7,415,719	7,459,159
減価償却累計額	△5,032,468	△5,290,792
機械装置及び運搬具(純額)	2,383,250	2,168,367
工具、器具及び備品	1,819,515	1,791,027
減価償却累計額	△1,636,519	△1,614,665
工具、器具及び備品(純額)	182,996	176,362
土地	5,223,558	5,121,680
リース資産	137,491	118,581
減価償却累計額	△91,977	△84,759
リース資産(純額)	45,514	33,822
建設仮勘定	91,857	96,407
有形固定資産合計	12,459,203	12,229,821
無形固定資産	172,625	269,381
投資その他の資産		
投資有価証券	913,843	973,165
退職給付に係る資産	1,391,116	1,399,505
その他	124,617	174,012
貸倒引当金	△25,867	△27,155
投資その他の資産合計	2,403,708	2,519,528
固定資産合計	15,035,537	15,018,731
資産合計	26,682,507	27,432,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751,006	943,857
短期借入金	1,583,527	1,535,802
リース債務	20,257	16,868
未払費用	436,383	337,915
未払法人税等	226,532	377,786
前受金	965,963	1,110,522
賞与引当金	673,583	353,616
役員賞与引当金	53,200	48,150
その他	865,560	812,133
流動負債合計	5,576,015	5,536,652
固定負債		
長期借入金	1,193,738	965,970
リース債務	28,294	19,396
繰延税金負債	621,495	705,590
再評価に係る繰延税金負債	519,007	493,591
訴訟損失引当金	73,278	73,278
資産除去債務	16,326	16,416
その他	49,818	48,560
固定負債合計	2,501,958	2,322,803
負債合計	8,077,973	7,859,456
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,750	7,060,750
利益剰余金	9,647,635	10,549,537
自己株式	△177,312	△177,535
株主資本合計	23,882,823	24,784,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,510	233,917
土地再評価差額金	△5,345,797	△5,394,378
為替換算調整勘定	△46,658	△13,248
退職給付に係る調整累計額	△80,343	△37,477
その他の包括利益累計額合計	△5,278,289	△5,211,187
純資産合計	18,604,533	19,573,314
負債純資産合計	26,682,507	27,432,770

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	16,853,544	18,564,232
売上原価	9,561,437	10,013,716
売上総利益	7,292,107	8,550,516
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	177,746	194,202
荷造運搬費	428,030	525,153
貸倒引当金繰入額	4,764	13,748
販売手数料	281,142	348,488
給料及び手当	2,259,392	2,355,685
賞与引当金繰入額	178,983	195,955
役員賞与引当金繰入額	28,350	48,150
退職給付費用	216,802	197,524
旅費及び交通費	328,043	346,468
減価償却費	182,460	199,058
研究開発費	488,980	521,421
その他	1,296,360	1,405,167
販売費及び一般管理費合計	5,871,058	6,351,024
営業利益	1,421,048	2,199,491
営業外収益		
受取利息	2,777	2,556
受取配当金	15,680	17,560
物品売却益	12,618	9,287
為替差益	11,070	16,795
補助金収入	16,784	—
電力販売収益	22,460	21,215
その他	97,016	86,280
営業外収益合計	178,408	153,695
営業外費用		
支払利息	32,648	25,769
電力販売費用	15,361	14,737
その他	12,210	10,445
営業外費用合計	60,220	50,952
経常利益	1,539,236	2,302,235
税金等調整前四半期純利益	1,539,236	2,302,235
法人税、住民税及び事業税	302,737	700,747
法人税等調整額	68,791	107,966
法人税等合計	371,528	808,714
四半期純利益	1,167,707	1,493,520
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,167,707	1,493,520

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,167,707	1,493,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,159	39,406
為替換算調整勘定	781,836	33,410
退職給付に係る調整額	80,429	42,866
その他の包括利益合計	932,426	115,683
四半期包括利益	2,100,133	1,609,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,100,133	1,609,204

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,852,779	1,164,724	1,964,436	1,234,792	11,216,732
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,701,102	258,429	4,248	663	2,964,445
計	9,553,882	1,423,154	1,968,684	1,235,456	14,181,178
セグメント利益	1,707,780	49,716	56,713	357,355	2,171,565

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	5,301,705	335,106	5,636,811	16,853,544
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	68	68	2,964,513
計	5,301,705	335,175	5,636,880	19,818,058
セグメント利益	498,260	37,481	535,742	2,707,308

(注) 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、メキシコ、カナダ

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、トルコ、スペイン、ギリシャ、フランス

(3) アジア……………中国、台湾、韓国、香港

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,707,308
セグメント間取引消去	△249,753
本社一般管理費(注)	△1,036,506
四半期連結損益計算書の営業利益	1,421,048

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「食品加工機械製造販売事業(日本)」、「食品加工機械製造販売事業(アジア)」のセグメント利益が、それぞれ19,054千円、1,993千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,961,304	1,343,459	2,180,538	1,357,452	11,842,753
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,865,316	55,411	—	—	2,920,727
計	9,826,620	1,398,871	2,180,538	1,357,452	14,763,481
セグメント利益	1,990,472	56,091	147,110	434,545	2,628,220

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,345,648	375,830	6,721,478	18,564,232
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	2,920,751
計	6,345,648	375,853	6,721,502	21,484,983
セグメント利益	741,158	88,974	830,133	3,458,353

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、アルゼンチン
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、イタリア、イスラエル、トルコ
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、香港、フィリピン

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,458,353
セグメント間取引消去	△146,305
本社一般管理費(注)	△1,112,556
四半期連結損益計算書の営業利益	2,199,491

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。